

熊本市子ども若者 モニター



令和7年度第二回アンケート

「熊本市が『みんなが住みたいまち』になるには？」

(中学生以上向けアンケート)

アンケート結果・フィードバック資料

○アンケート概要

タイトル	「熊本市が『みんなが住みたいまち』になるには？」
実施目的	<p>全国的に、出生数や合計特殊出生率が減少しこどもが減っており、熊本市からも若い人の転出が増加するなど、こどもや若者の人口減少が進んでいます。</p> <p>そこで、もっとこどもや若者が増えるように、熊本の魅力を高めたり、魅力を発信していくことで、みんなが住みたくなる熊本市になるために必要なことを知るため。</p>
実施期間	令和8年（2026年）1月6日～1月18日
対象者	中学生以上のこども・若者モニター 18名
回収数	8件
回答方法	LogoForm による回答
今後の活用等	今後のこども施策の推進やこども計画の評価などに活用します。

問1

熊本市は「住みやすいまち」だと思えますか？

結果

とてもそう思う ・・・1名
ややそう思う ・・・4名
あまりそう思わない・・・3名
全くそう思わない ・・・0名



概ね、半数以上が熊本が住みやすいと
思っているみたいだね！

問2

将来、熊本市に住み続けたいと思いますか？

結果

はい・・・2名
いいえ・・・3名
まだわからない・・・3名

問3～4

「住み続けたい」と思う理由

- 都会と田舎（自然）が程よくあり、両方楽しめるから。また、水や料理が美味しいから。
- 熊本はご飯が美味しくて、自然と街の開発が共存していると感じるから。

「住み続けたい」と思わない理由

- 交通の便が悪い
- 遊ぶ場所が街や駅くらいしかない
- 交通の便が悪く、車がないと生活出来ない。
- 渋滞が多い。
- 電車などが少ないので、子どもひとりでの行動がしづらい。
- 博物館などの数が少ない。規模が小さい。
- 生活インフラが不十分であると感じるため。
- 仕事は熊本でもしていきたいが、居住となれば福岡が最適解であると思うため。

問5

熊本市（あなたが住んでいる地域でも OK）の「好きなところ」はどこですか？（3つまで）

選択肢	回答数
水がきれいで、おいしいところ	6
阿蘇や金峰山など、自然が近くにあるところ	4
馬刺しやラーメンなど、おいしい食べ物があるところ	4
熊本城や歴史を感じられるところ	3
買い物や遊ぶ場所があるところ（下通・上通など）	2
お祭りやイベントが楽しいところ（火の国まつりなど）	1
路面電車やバスがあって便利なおところ	1

問6

熊本市で「もっとよくなったらいいな」と思うところはありますか？（3つまで）

選択肢	回答数
交通渋滞の緩和	8
自転車や歩行者が安全に通れる道をふやしてほしい	5
公園やあそぶ場所をもっとふやしてほしい	2
バスや路面電車をもっと便利にしてほしい	2
買い物や遊ぶ場所をもっとふやしてほしい	2
自然をもっと大切にしてほしい（川や山）	1
商業施設の充実化	1

問7

熊本市を「ずっと住みたい」「将来戻ってきたい」と思えるまちにするには、具体的に何が必要だと思いますか？（記述式）

- 私が熊本市を「ずっと住みたい」「将来戻ってきたい」と思えるまちにするために必要だと考えるのは、「ストレスのない移動環境の実現」だと思います。交通渋滞の解消のために、主要道路の立体交差化や環状道路の整備を加速させ、移動時間を短縮することは、市民のゆとりを生むだけでなく、物流や経済の活性化にも直結すると思います。同時に、公共交通機関の利便性を高め、車がなくても市内を自在に移動できる「徒歩や自転車でも楽しい街づくり」を行うことも効果的だと思います。
- 職の幅が広がると良いと思う。大企業のオフィスが増えると良いと思う。
- 子育て支援（補助金や祝い金等）が充実していたり、こども連れで楽しめるような施設や場所が沢山あると良いと思う。
- 都市計画の改革が必要であると感じる。初めに、熊本城の景観法は撤廃すべきである。これが故に、都市計画が難航しているように感じる。魅力ある都市⇨生活インフラの拡充であると思う。
- 公共交通機関の利便性向上、空港や高速道路へのアクセス向上
- 企業誘致（雇用の創出）
- 朝の交通渋滞が酷いので時間差出勤をもっと色んな企業で実施する。バスの本数を増やす。
- 交通の便がよく、賑やかで、楽しい町。子育てがしやすい町。
- 老若男女関係なく、暮らしやすくなるサービスが受けられて、ひとりひとりの意見が届きやすくなること。